

令和5年度 特別国体関東ブロック大会 水球競技【戦評】

会場：埼玉県大宮公園水泳場

【2023/8/5】

A-1決定

千葉県

12

3	—	1
4	—	1
2	—	2
3	—	2

6

東京都

PSO

中 哲朗

審判:

新井 陸士

この試合のプレー集計

千葉県	23	SH数	20	東京都
	5	速攻数	1	
	7	ST・SB	7	
	12	SH・P誘発アシスト	6	
	50%	GK阻止率	33%	
	6	EX反則数	5	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1P

千葉が東京のオフェンス反則からの5-4速攻で、⑩山本が右45° から決めて先制点をマーク。東京もその後、退水を奪って攻めるが、千葉のゾーンディフェンスに手を焼き、逆にそこを突かれて②稲場に決められて千葉2-0東京。それでも東京は粘りを見せて、センター③橋本が決めて1点差に迫る。しかし、ピリオド終盤、東京の攻撃を防いで千葉が全員攻撃をかけ、④山井が右サイドを泳いで決めて千葉3-1東京で第1ピリオド終了。

2P

東京は攻撃権を得ても決定的な状況になかなか持ち込めず、そこを千葉に攻め込まれる展開が続く。そうした圧力に押されて、ペナルティ、退水を奪われ、劣勢状態が続く展開。攻撃の終わり方、特にボールを上に戻し、プレッシャーを受けた状態で攻撃権の移行が起きると、千葉側に決定機を作られやすい状況となってしまう。その意味では、千葉はゴール前を固めてパスをインサイドに入れさせず、外周にボールが出たところをスイムアタックして優位を保つ理想的な試合運びと言える。こうしたゲームコントロールで千葉が優位に立ち、千葉7-2東京とやや予想外な点差で前半を折り返した。

3P

東京の攻撃パターンが改善され、右サイドからの展開が多く出るようになり、センター(⑦吉澤、⑤山崎)が切り返しプレーで決めて点差を詰める。しかし、千葉もゴール前に鋭く攻め上がってペナルティを奪い、②稲場が決めるとまた千葉ペースに。立て続けて⑨大坪が決めて点差を戻した。千葉9-4東京で第3ピリオド終了。

4P

東京の攻撃では右サイドからセンター②中野らにボールが入れば決定機となるだけに、失点をおさえて、このプレー勝負にかけるしかない状況だ。そのパターンで何とか追いすがすが(4:22センター②中野、0:32センター②中野が得点)、相変わらずセット攻撃でスイムアタックされているところにパスを出して追い込まれるという展開が続く、最終的にこのピリオドも千葉が優勢。最終的には千葉12-6東京のダブルスコアで千葉がAブロック1位を決めた。